

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状

【神大寺地区】

人口 13,362人(2021/9現在)

[14歳以下 1,391人 65歳以上 3,600人 75歳以上 1,815人 高齢化率 26.9%]

戸建てと集合住宅が広がる、山坂が多い住宅地である。夏祭り・秋祭り・餅つき大会の開催や防災訓練など各町内会の活動は活発に行われている。高齢化率は3地区内で一番高く、また集合住宅が多くあり課題が見えにくい状況だが、高齢者のサロンが立ち上がるなど、身近な場所での支えあい活動が増えてきている。

14歳以下の人口も減り始め、子ども会も廃止している。子どものセーフティネットを作り上げるために、この地区にある3校の小学校と地域が共に子供の育成に向けて、新たに子どもの居場所づくり等の取組みも動き始めている。

【片倉】

人口 13,866人(2021/9現在)

[14歳以下 1,785人 65歳以上 2,999人 75歳以上 1,627人 高齢化率 21.6%]

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地である。戸建てが多いが、集合住宅も課す多く散在している。地域福祉保健計画の地区推進会議を年3回以上開催するなど、福祉活動への理解と行動がある地域で、ふれあい活動見守り、子どもの居場所などを熱心に行っている。少子化の中ではあるがここ数年で3件の保育園が設立する。集合住宅には、高齢者世帯や独居者の在住も多く課題抽出しにくい状況である。

【三枚】

人口 5,336人(2021/9現在)

[14歳以下 820人 65歳以上 990人 75歳以上 430人 高齢化率 18.5%]

農地や樹林地など、緑豊かな環境の地と住宅地である地域であり、上町エリアと下町エリアに分かれている。2町会は住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、グランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀、食事会など、自治会やシニアクラブを中心にした活動が活発に行われている。また新駅開業頃より住宅地が増えるとともに子供の数も増えてきている。年少人口の増加に伴い子供会の活動も増えてあり、子どもを通じての繋がりが強い。高齢化率も神奈川区平均より低くここ数年維持している。

今後の方向性

3地区共に住民活動が活発な地域であり、また3地区が集まって地域課題に取り組むという体制も出来ていることから、今後も共に協力し合える関係性を築き、地域ケアプラザと3地区とで連携強化・情報共有し、地域課題に取り組んでいく。

コロナ禍の高齢者の老化進行(フレイル)や子どもの困窮など、「高齢者」「子供」を課題に挙げ、地域と双方向の情報交換をしながら展開していきたいと考える。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	地域特性を踏まえ地域ニーズに沿った健康講座を中心とした自主事業を年間7回程度開催する。
<input type="checkbox"/>	■	地域の中で子育て支援拠点に毎月参加しケアプラザ広報紙の配布や講座等の周知し地域の身近な相談窓口として認識していただく。
■	<input type="checkbox"/>	既に行っている地域には継続的に行えるように支援します。まだ行えていない地域に関しては、住民同士の支え合いの必要性に関して理解していただくような講座を開く。(年間1回開催予定)
■	<input type="checkbox"/>	3か月ごとに5職種で総合相談の情報を基に課題等を抽出し情報共有していく。「相談月報システム」を用いて情報を抽出していく。
■	<input type="checkbox"/>	ケアマネジャーが民生委員などと連携がとれるように、ケア関係者向けの勉強会で民生委員や高齢者住宅にての見守り活動についての実際や地域の活動を紹介する機会を持つ。(年1回)

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【各項目の振り返り】

【全体を通して】

区からのコメント

令和4年度横浜市片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予防支援計画の委託に関しては、ご利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようにします。 ■ あらゆる対立する関係からの中立を保つよう心掛け、偏って支援することが無いように、職員研修等を通じて学んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスクマネジメント活動を通じて、事故対策を行い、可能な限り、ルール化していく活動を行います。 ■ 個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所への施錠、送付する場合のダブルチェック体制などに努めます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。 ■ 利用者本人自らが計画作成に参画して、利用者本人が納得した計画を作成することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連機関と連携し、包括的継続的ケアマネジメントが実践できるようになる。 ■ 住み慣れた地域で本人が望む生活が実現できるよう、個々のACPを実践できるようになる。
利用料金・実費負担	原則として本人負担はありません。 保険料未納等がある場合は下記額の1～3割が自己負担となります。 要支援1・2 4,870円	無
職員体制	看護師1名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名、介護支援専門員1名 計5名(2022. 4. 1現在)	管理者(兼務)1名 常勤2名 非常勤2名 計5名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	新型コロナウイルスの感染予防をしながら「出来る事」の継続、「やりたい事」が増やせ、在宅生活が維持できるような、生活を意識した生活支援を行います。	新型コロナウイルスの感染予防をしながら「自分のやりたい事」、「自分で決める自分の事を」をスローガンに、地域生活の継続を援助します。	実施していません
実施体制	【実施日数】 週6日(月～土) 第1号・介護予防は週5日(月～金) 【提供時間】 9:30～16:30 第1号・介護予防は9:30～13:30 【定員】	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 12名	
利用料金・実費負担	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	
職員体制	管理者1名/生活相談員2名 介護職員10名/看護師4名 送迎運転手10名	管理者1名/生活相談員2名 介護職員10名/看護師4名 送迎運転手10名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	健康ひろば (介護予防講座)	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1:高齢者		1年間3回程度開予定。
2	ウォーキングで体づくり	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において感染が拡大すると室内プログラムは中止せざる可能性が高くなる。そのため屋外で取り組める健康講座を開催し高齢者の健康の維持・増進を図る。	1:高齢者		1年間4回程度開予定。
3	地域の歴史を知ろう (オンライン講座)	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	郷土愛をはぐくむ機会を作りながら主に高齢者がZoomを活用する機会を提供する。また暑い時期は外出を避ける傾向にあるため8月に開催し自宅からでも気軽に参加できる環境を整える。コロナ禍において感染が拡大しても開催できる方法での講座とする。	1:高齢者		53回/1コースで開催予定
4	地域事業所連絡会	H27	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・コロナ禍で集まることが難しい中、オンラインなどツールを利用しながら話し合うことにより医療と介護の相互理解の促進を図る。 ・地域のケア関係者の顔の見える関係の構築	6:事業者		6・地域のクリニックの医師と参加者との情報共有を目的とした意見交換会 年2回程度
5	民生委員さん向け「出張 ミニ講座」	H31	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域で集まりやすいところに出張と言う形で民生委員の皆さんに介護保険や介護サービスに対する理解を深めて頂く。	1:高齢者		5地域の皆さんと共に知りたい情報やテーマを話し合いながら実施する、2回程度予定。
6	地域のケアマネジャー向け事例検討会	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で活動するケアマネジャーがそれぞれの抱える事例の課題を共有し意見交換することで、個々のケアマネジャーの課題解決力、ケース対応力を高める。	6:事業者		6・ケアプラザ協力医、神奈川区医療連携拠点、地域のケアマネジャーによる事例検討会。(年1回) ・居宅支援事業所との共催による事例検討会(年2回)
7	市民公開講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザ協力医による、市民向け講座を行う。テーマについては未定	1:高齢者		5ケアプラザ協力医 赤羽先生による講演会。11月に予定。
8	医療相談会	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	まちの保健室として地域ケアプラザで行っている市民向けの医療相談会を個別の相談会とは別に行う。	5:地域		6季節に合わせたミニ講座と協力医を囲んだ座談会形式。年4回開催
9	高齢者住宅 ヒルズ神大寺おもしろ会	H28	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、ミニ講座開催や身近なテーマで話し合う場を設け様々な情報を提供し、自立した生活を支援していきます。自助・共助の力を養う場。	1:高齢者		1毎月第4木曜日 14:00～15:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
10	高齢者住宅 グリーンピア片倉交流会	H28	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣との助け合いを構築する。民生委員や地域の専門機関と連携を図り、地域社会との関わりを増やす。	1:高齢者		1毎月第3月曜日 10:30～12:00 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
11	地域のZOOM練習会	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において必要性が高まっているオンラインの活用普及のために、地域の方向けにZOOM練習会を開催する。	5:地域		2022年4月～2023年3月 10:00～11:00 月2回程度
12	折り紙サロン	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域に暮らす高齢者を対象とした見守りや仲間づくりを目的とする。また、手先を使った作業を通じて、探索の楽しさや気分転換の機会を提供する。	5:地域		1毎月第2・3木曜日 14:00～15:30 季節のものや、キャラクターの折り紙のお題を決め、参加者同士で楽しむ。高齢者の気軽なケアプラザ利用のきっかけとなる講座。
13	ティールームもくせい	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域作業「もくせい」の協力を得て、パンやクッキーの販売場所を提供する。地域の方が気軽に外出し、地域作業所に従事する障がい者と地域住民の交流の場とする。	5:地域		1毎月第4火曜日13:00～14:00 多目的ホールを会場とし、地域作業所「もくせい」が提供するパン屋やクッキーの販売。「アトリエもくせい」で作られたさまざまな織りの商品も販売・展示する。コロナウイルスの影響により、喫茶コーナーを中止し、エントランスにてパンと商品の販売のみとする。
14	いろばた茶屋	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めている。	5:地域		1毎月第2土曜日 13:00～14:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や移動支援、傾聴を行っている。 開催時間中は、包括職員が常駐し、総合相談に対応している。
15	介護者のつどい	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護している方、気軽に集える居場所を提供する。講座を設け、介護に必要な情報を得る場を作る。講座後に茶話会を実施し、互いの情報交換の場、語り合う場を作る。	5:地域		14月より基本隔月第4土曜日に実施。開催時間は1時間。ニーズに応じ講座を設ける。 5実施方法はZOOM開催、実際に集まったの開催を行う。

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
16	司法書士の無料相談会	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域		司法書士による1組30分の無料相談を行う 6 主催：神奈川県包括支援センター連絡会 神奈川県社会福祉協議会
17	行政書士の無料相談会	平成23年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域		行政書士による1組30分の無料相談を行う 6 主催：神奈川県包括支援センター連絡会 神奈川県社会福祉協議会
18	エンディングノート啓発事業	平成31年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	神奈川県版エンディングノートの完成に伴い、社会福祉連合会が啓発を実施していく。自らの権利を守るために備えが必要であり、大切であることを伝え、その支援をする。	5：地域		ライフデザインノートの項目に応じた講座に抱き合わせた形でライフデザインノートの説明を行う。実施方法はZOOM開催若しくは、実際に集まっての開催を行う。 年間1、2回開催予定
19	認知症サポーター養成講座	平成19年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	参加者が認知症に対して正しい知識と具体的な対応方法について学ぶ事で地域で認知症の人とその家族を暖かく見守り、出来る範囲で支援出来るよう支援行っていく。既にサポーター登録登録している方のスキルアップを目的とする。	5：地域		地域のニーズに応じて、または、企画して講座を実施。地域のキャラバンメイトと協力して講座を行っていく。 (認知症の講話・寸劇・映画上映・認知症サポーターについての説明等)
20	権利擁護関係の講座、勉強会	R4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	前年度成年後見制度についての講座を行った。今年度は成年後見制度に絞らず、権利擁護に関する制度の講座や勉強会を行う。 地域の声や地域の状況に応じ、生活困窮、虐待についての講座、勉強会を民生委員や事業所向けに開催する予定。	5：地域		権利擁護に関する制度講座、勉強会を行う。 5 年間2回程実施、6月、11月開催予定。
21	ロバメイトフェスティバル	平成32年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	「認知症にやさしい地域づくり」のために、広く地域に向けて認知症の啓発を行う。 ・今年度新たに実行委員会が発足、運営委員主体のロバメイトフェスティバル開催を目指す。	5：地域		実行委員会の話し合いに参加し運営委員会が主体となり活動できるよう支援を行う。 9月16日、17日実施予定
22	かなプラ子育て応援タイム	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	乳幼児とその親向け。育児中のちょっとした休憩の機会とする。集まった親子がお互い交流し、悩みや不安を話し合い仲間づくりをしていただく。	3：養育者及び乳幼児		年3回実施。音楽会、体をつかった親子遊び、絵本読み聞かせとクリスマス会。子育てのヒントとなる遊びを提供したり、普段はできない体験の機会をつくる。
23	室内健康づくり	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	片倉地区保健活動推進員の活動支援。地域住民の健康づくりへの意識を高めて頂く。	5：地域		7月20日(水)実施予定。スポーツ指導員を講師に招いて、自宅でもできる運動不足・肩こりや腰痛解消のストレッチ運動を行う。また、保健活動推進員が、機器を使って圧力、血圧、血流測定を行う。
24	子育て支援日	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の子育て支援の場の提供と、困ったことがあった場合の相談窓口として開設。	3：養育者及び乳幼児		毎週金曜日、10:00～11:30

令和4年度「横浜市片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,403,761		17,403,761		17,403,761	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	90,000	0	90,000	0	90,000	
印刷代	30,000		30,000		30,000	
自動販売機手数料	60,000		60,000		60,000	
その他	0		0		0	
その他	3,265,863		3,265,863		3,265,863	
収入合計	20,759,624	0	20,759,624	0	20,759,624	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,390,000	0	11,390,000	0	11,390,000	
本俸	7,300,000		7,300,000		7,300,000	
社会保険料	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
手当計	2,700,000		2,700,000		2,700,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	150,000		150,000		150,000	
事務費	1,161,624	0	1,161,624	0	1,161,624	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	320,000		320,000		320,000	
会議随費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	230,000		230,000		230,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	0	21,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000		21,000	
その他	0		0		0	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	80,000		80,000		80,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	50,624		50,624		50,624	
事業費	304,000	0	304,000	0	304,000	
運営協議会経費	40,000		40,000		40,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000		264,000	
その他	0		0		0	
管理費	6,430,000	0	6,430,000	0	6,430,000	
光熱水費	3,700,000		3,700,000		3,700,000	
清掃費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	300,000		300,000		300,000	
設備保全費	930,000	0	930,000	0	930,000	
空調衛生設備保守	400,000		400,000		400,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	50,000		50,000		50,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	400,000		400,000		400,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	20,759,624	0	20,759,624	0	20,759,624	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	0	264,000	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	0	△ 264,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	0	60,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	0	21,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	39,000	0	39,000	0	39,000	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,671,238		29,671,238		29,671,238	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	20,000		20,000		20,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		2,772,500		2,772,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	2,772,500		2,772,500		2,772,500	
収入合計	38,469,738	0	38,469,738	0	38,469,738	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,625,000	0	33,625,000	0	33,625,000	
本俸	18,000,000		18,000,000		18,000,000	
社会保険料	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
手当計	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
健康診断費	25,000		25,000		25,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	600,000		600,000		600,000	
事務費	1,519,738	0	1,519,738	0	1,519,738	
旅費	120,000		120,000		120,000	
消耗品費	350,000		350,000		350,000	
会議滞在費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	230,000		230,000		230,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	150,000		150,000		150,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	80,000		80,000		80,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	204,738		204,738		204,738	
事業費	1,390,000	0	1,390,000	0	1,390,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000		151,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000		309,000	
その他	0		0		0	
管理費	1,735,000	0	1,735,000	0	1,735,000	
光熱水費	950,000		950,000		950,000	
清掃費	400,000		400,000		400,000	
機械警備費	80,000		80,000		80,000	
設備保全費	305,000	0	305,000	0	305,000	
空調衛生設備保守	100,000		100,000		100,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	20,000		20,000		20,000	
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000		15,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	150,000		150,000		150,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	200,000		200,000		200,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	38,469,738	0	38,469,738	0	38,469,738	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	70,000	0	70,000	0	70,000	
自主事業費 支出	760,000	0	760,000	0	760,000	
自主事業 収支	△ 690,000	0	△ 690,000	0	△ 690,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市片倉三枚地域ケアプラザ

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	16,000		16,000	24,000		24,000	95,000		95,000	4,600		4,600	22,000		22,000	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0
	収入合計(A)	16,000	0	16,000	24,000	0	24,000	95,000	0	95,000	4,600	0	4,600	22,000	0	22,000	
支出	人件費	4,000		4,000	20,000		20,000	84,000		84,000	0		0	0		0	
	事務費	500		500	1,000		1,000	16,000		16,000	0		0	0		0	
	事業費	0		0	300		300	11,000		11,000	0		0	0		0	
	管理費	500		500	1,000		1,000	7,000		7,000	0		0	0		0	
	その他	10,000		10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	
	介護予防プラン委託料	10,000		10,000	0		0	0		0	0		0	0		0	
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	
	支出合計(B)	15,000	0	15,000	22,300	0	22,300	118,000	0	118,000	0	0	0	0	0	0	
	収支 (A) - (B)	1,000	0	1,000	1,700	0	1,700	-23,000	0	-23,000	4,600	0	4,600	22,000	0	22,000	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。